

事例 1 <<ねらい>> 人間関係の構築 ～音楽・体育・国語の要素を取り入れて～

第1週目

時間	活動	活動内容	活動の意図
10分	1 あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> これまでの挨拶と礼のタイミングの違いに気づき、やってみる。 全体のあいさつ、隣の人へのあいさつなど声の大きさを変える。 	<ul style="list-style-type: none"> 視診により児童の様子を把握する。 新しい集団の中で生活や学習をしていく意欲を喚起するきっかけとする。
	2 歌 ♪グーチョキパー で何つくろう	<ul style="list-style-type: none"> 親しみのある歌を、自信をもって楽しんで歌い、表現する。 ※歌と遊びのアイデア集から選択 	<ul style="list-style-type: none"> 馴染みのある歌を歌うことで、緊張感をほぐす。 友達と一緒に活動し、親しみを感じる。
15分	3 じゃんけん列車 4 「さんぼ」(教育芸術社)の歌に合わせて歩く。	<ul style="list-style-type: none"> ルールを守ることが集団生活の中では必要であることを体感する。 ※歌と遊びのアイデア集から選択 列車の先頭を教師にし、連なって歩く。2番の歌詞になったら手を離して歩く。 教師は、児童が前の人の上に踏かないよう、歩幅や速度を児童に合わせて歩く。止まるときは、徐々に速度を落として止まる。 2番の歌詞になる前に、手を離しても列になって歩くことを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> 初めてかかわる友達ともじゃんけんし、触れ合うことで安心感をもつ。 集団への参加状況を把握する。 なじみのある歌や活動を行い。培われてきたコミュニケーション能力や自己発揮について注視する。 自分からかかわりをもてない児童へ寄り添い、一緒に活動することで集団参加を促す。
15分	5 読み聞かせ 国語の教科書「あさ」(光村図書) 6 挿絵から見つけたものを発表する。	<ul style="list-style-type: none"> 該当ページを拡大コピーまたは電子黒板などで示し、教師が読む。 これまでの経験をもとに、戸外での散歩のイメージを膨らませながら聞く。 挙手して名前を呼ばれたら発表することを知り、やってみる。 友達の発表を聞き、同じ考え、違う考えがあることを知る。 発表者の方を向いたり、うなずいたりしながら聞いている児童の姿を紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「さんぼ」の作詞者と同じ作者(中川李枝子)であることを伝えることで、今後の並行読書による学習へつなげる。 初めて出会う文でも、作者が同じことを知ることで、親しみをもつ。 相手の話の内容を注意して聞いてわかったり、自分の思いや考えなどを相手に分かるように話したりすることで、言葉を通して教師や友達と心を通わせる心地よさを味わう。 発表やつぶやきから言語・思考の発達状況を観察する。 発表していない子どもの様子も観察する。

時間	活動	活動内容	活動の意図
5分	1 あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> ・場所に合った声の大きさを知る。 ・「声のものさし」を使い、全体のあいさつ、隣の人へのあいさつなど声の大きさを変える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・視診により児童の様子を把握する。
5分	2 歌 ♪ZOOZOOZOO	<ul style="list-style-type: none"> ・テンポの良い曲に合わせて歌い、楽しい気分になる。 ※歌と遊びのアイデア集から選択 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師も一緒に楽しく歌うことで、活動への意欲化を図る。
10分	3 猛獣狩りに行こうよ（動物園バージョン）	<ul style="list-style-type: none"> ・学級（学年）の友達と一緒にルールに従って遊ぶことで、遊びの楽しさを感じたり、かかわりを深めたりする。 ・タンバリン、文字カード、数字カードを用いて、音の数と集合する人の数、文字と言葉について視覚的にとらえる。 ・人数を把握し余ることのないようにしたり、グループを組めない場合には「サイだ」のように文字数を工夫したりし、安心して活動できるようにする。 ・最後のグループで次の活動をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・しっかりと話を聞くことで、ルールを理解し活動できることを知る。 ・音節と文字の関係（国語）や数字と量の関係・量の感覚（算数）を感じるようにする。 ・グループ毎に声を合わせて動物の名前を言う活動を設定し、所属意識をもち、一体感を感じる。
20分	4 歌さがし 音楽の教科書「うたでさんぽ」（教育芸術社） 5 見つけた歌を発表し、みんなで歌う。	<ul style="list-style-type: none"> ・の拡大コピーの場合はグループに1枚ずつ配り、グループで相談しやすい環境にする。 ・これまでの音楽経験と結びつけながら、挿絵から歌をさがす。 ・各グループで見つけた歌を歌ってみる時間をとる。 ・グループごとの活動にすることで、安心して自己表現する。 ・隠れている歌全てが出ない場合は、次回にまた探すことを伝え、活動を保障する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・懐かしい歌を絵から思い出し、見つけることができたという満足感や、その歌を歌うことで安心感をもつ。 ・グループ活動の中で、友達の意見を聞きながら、自分の考えに自信をもつ。 ・グループ毎に発表することで一体感、達成感を味わう。

にこにこタイムでは、園で歌った歌や、なじみのある手遊びや絵本を活用したり、コミュニケーションを深める活動を工夫したりし、学校生活への安心感、人間関係の構築を主なねらいとしています。

音楽や国語、体育などのねらいを含む活動を組み込むことで、教科の時数としてカウントすることができます。

1年生の第1週目よりも第2週目は教科のねらいを重視し、次第ににこにこタイムを減らしてきます。連休明け、長期休業明け等にも活用し、子どもたちが「学校に来るのが楽しい」と思える朝の活動を工夫します。

